

見えた！サンゴの森

修学旅行日記 8
取材日 in 沖縄



A団 3日目

荒波の海を走る

雲空の中ボートシュノーケリングをするために、平良港へ向かいそこから沖に向かった。船に乗るとまず、ウエットスーツに着替え、水中眼鏡の使い方を教えてもらった。そして、先生の見送りを受けて出発した。目的地に着くまで船は波を切りながら走った。そして、ひれを付けてインストラクターと共に海の中へ入った。

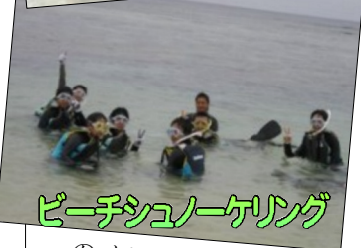


ボートで沖へ出発!

海の下を見るとまるで空を飛んだように下に陸が存在した。珊瑚の森の中で魚たちは鳥や蝶のように海を舞い、海の楽園が広がっていた。ミドリイシという珊瑚が隙間なく分布し、その間をルリスズメなどの様々な種類の熱帯魚が見られた。



さあ海へ!



ビーチシュノーケリング

ビーチシュノーケルを選んだ僕たちは雨が降る中、保良川に向かった。スウェットスーツに

そして、帰る頃になると雨が降り、横から波と雨が混じりしよばい味が出た。港に着く頃にはびしょ濡れであった。
(A団・風火)

* * *

そして、帰る頃になると雨が降り、横から波と雨が混じりしよばい味が出た。港に着く頃にはびしょ濡れであった。
(A団・風火)



こぎ出すシーカヤック

民家で憩いの時間

～里帰りした気分～

民泊2日目となった今日は、民家の方々とも打ち解け、会話も弾んだ。そんな中で今日は宮古島の方言(城辺版)について教えていただいた。同じ宮古島でも方言は部落によって微妙に異なるとのことだった。

「ありがとう」→「タンディガー タンディ プカラッサ」

「おいしい」→「ンマムヌ」

「お腹いっぱい」→「バタゴー バタゴー」

「いらっしゃい」→「ンチャーチ」

この他にも方言は沢山あるが、宮古島の方言は「ン」から始まるものが多いことが特徴だそうだ。標準語には「ン」から始まる言葉はないので皆さん意外に思われることだろう。

方言は文字で見ただけだと微妙なイントネーションが分からなかったりするので、直接教わるのが出来ていい体験となった。
(A団・白樺)

農作業を体験

3日目の今日は各民家ごとに農業体験をさせていただいた。民家によって体験内容は異なるが、自然に触れる良い機会となった。例としては、牛の世話やハウスでの畑仕事をしたようだ。ただ、雨が激しかったため、外での畑仕事は泣く泣く断念することとなった。
(A団・白樺)